

サイモン・デニヤ ワシントン・ポスト東京・ソウル支局長 との懇談会を開催

開催日：2018年12月14日(金)

場所：経団連会館

来賓：サイモン・デニヤ ワシントン・ポスト 東京・ソウル支局長

経済広報センターでは、わが国経済界と主要国メディアとの関係強化に向けた活動の一環として、有力外国ジャーナリストとの意見交換を継続的に実施している。12月14日、ワシントン・ポストのサイモン・デニヤ東京・ソウル支局長を招き、「中間選挙後の米国政治と日米中情勢」をテーマに意見交換を行った。

デニヤ氏は、ワシントン・ポストにおいて中国、インド支局長を歴任後、2018年に東京・ソウル支局長に就任し、日本、北朝鮮、韓国を担当。前職のロイターでも、ワシントン、ニューデリー支局長を務めるなど、アジアを中心に職歴を重ねているジャーナリストである。

デニヤ氏はまず、米国中間選挙後のトランプ政権の動向や日米関係の現状とそこに潜むリスクを紹介。また、厳しさを増す米中対立の背景に迫るとともに、今後の見通しについて述べた。さらに朝鮮半島情勢に対し、担当支局長としての見識を披露した。

同懇談会には、同センターの会員企業・団体から25名が参加。米中対立がもたらす日本への影響など、活発な意見交換が行われた。



以上